

(参考 1) 食に関するアンケート 調査表

調査票のご確認にあたって
(各質問上の水色の箇所に、その質問に関する設定が表示されます)

画面分割
画面が分割される箇所に「ここで改ページ」という線が表示されます。
セレクト条件 (回答者指定機能)
設定の内容は、以下の4種類で表記されます。 表記例 【Q1】で1-3と答えた方 →Q1で選択肢「1,2,3」のいずれかを選んだ回答者にのみ、「質問」が表示されます。 Q1項目【1】で1と答えた方 →Q1の項目の1番目で選択肢「1」を選んだ回答者にのみ、「質問」が表示されます。 項目【1】：【Q1】で1と答えた方 →Q1で選択肢「1」を選んだ回答者にのみ、「項目の1番目」が表示されます。 1_FA：【Q1】で1と答えた方 →Q1で選択肢「1」を選んだ回答者にのみ、「自由解答欄の1番目」が表示されます。
排他選択肢
対象の選択肢と、他の選択肢が同時に選択された場合、回答者にエラーを表示します。

◆設定の記載が無い画面をごらんになる際は[こちら](#)をクリックしてください。

食に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

アンケート開始時のお願い



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

❗ 回答内容は調査依頼元に提供されます。設問とは関係のない情報が入力されていないかご確認ください。

❗ 回答内容の取扱いは、[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

主催：株式会社マクロミル

- ❗ 必須入力

Q1

100%

あなたは、現在ご結婚されていますか。

Ⓐ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 未婚
- ② 既婚、未婚パートナー等がいる
- ③ 離別、死別
- ④ その他、回答したくない



ここで改ページ

- ❗ 必須入力

Q2

あなたには、現在18歳未満のお子様がいらっしゃいますか。

Ⓐ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 子供がいない
- ② 子供がいる



ここで改ページ

- ❗ 必須入力
- ❗ 11_FA：必須入力

Q3

あなたの現在のご職業をお答えください。

※複数のご職業に従事されている方は、最もメインで従事されているご職業についてお知らせください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 公務員
- ② 経営者・役員
- ③ 会社員（事務系）
- ④ 会社員（技術系）
- ⑤ 会社員（その他）
- ⑥ 自営業
- ⑦ 自由業
- ⑧ 専業主婦（主夫）
- ⑨ パート・アルバイト
- ⑩ 学生
- ⑪ その他
- ⑫ 無職



- セレクト条件：【Q3】で10と答えた方
-  必須入力

Q4

学生の方にお伺いします。現在のご自身の学生区分をお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 高校生・高専生
- ② 専門学校生
- ③ 短大生
- ④ 大学生
- ⑤ 大学院生
- ⑥ その他学生



ここで改ページ

- 画像必須

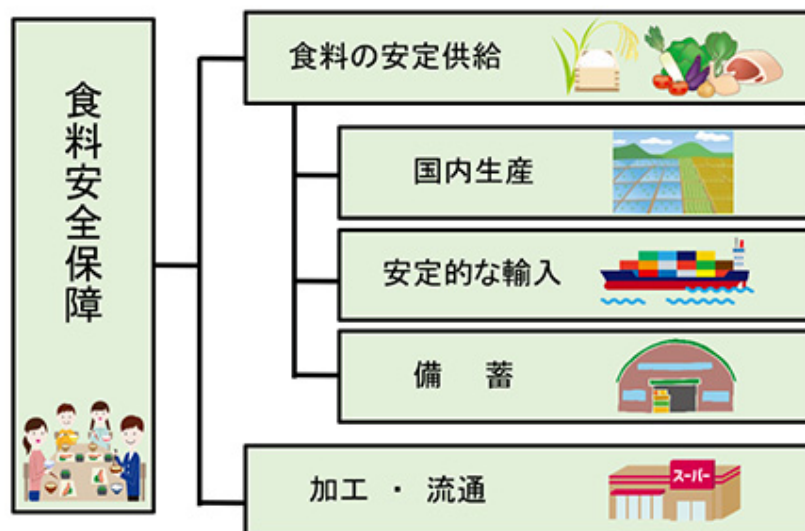
C1

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

1 食料安全保障の確保

○食料安全保障とは、良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ、国民一人一人がこれ入手できる状態を指します。



ここで改ページ

- ①必須入力

Q5

食料安全保障という言葉をご存じでしたか。

○ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 内容も含め知っていた
- ② ある程度内容も知っていた

③ 聞いたことはあるが、内容は知らなかった

④ 聞いたことがなかった



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q6

日本のカロリーベースの食料自給率をご存じですか。

Ⓐ 単一回答 ★ 必須回答

① 30%未満

② 30%以上40%未満

③ 40%以上50%未満

④ 50%以上60%未満

⑤ 60%以上70%未満

⑥ 70%以上



ここで改ページ

- 画像必須

C2

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

○輸入割合の高い小麦、大豆等は、世界情勢の変化・気候変動に伴う価格高騰や供給の不安定化などのリスクがあります。また、国内の農業就業者数は、外国人労働者や臨時雇用を含めても急激に減少しており、国内生産割合の高い野菜、果樹等においても、価格や供給が不安定化するリスクを抱えています。

〔※世界情勢の変化の例としては、生産国の気候変動や円安の進展、輸送需要の増加や原油価格の高騰等による海上運賃の上昇、世界の人口増加や経済発展に伴う食料の需要増大による調達競争の激化、投機的資金の流入等が考えられます。〕

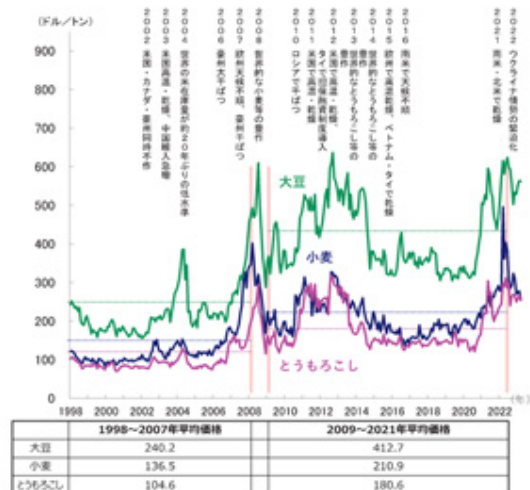
○こうしたリスクに対し、政府は国内の農業生産の増大を図ることを基本とし、これと併せて安定的な輸入及び備蓄により、食料の安定的な供給、食料安全保障の確保を図ることとしています。

令和6年度の諸外国での主な動き



出典：令和6年度食料・農業・農村白書
食料・農業・農村基本法の見直しについて

穀物等の国際価格



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q7

食料安全保障を確保するためには、輸入割合の高い品目、国内生産割合の高い品目、それぞれに対し想定されるリスクに備え、適切に対応していく必要があります。ご存じでしたか。

○ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 知っていた
- ② ある程度知っていた
- ③ 知らなかった



ここで改ページ

- 画像必須

C3

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

2 我が国の食料自給力（潜在的な食料生産能力）

○不測の事態への対応状況（最近の米の価格高騰）

令和7年4月時点の米の価格が、品薄感などから前の年の同じ月の約2倍（東京都ではコシヒカリで4,770円/kg、その他の銘柄で4,654円/kg）になるなど、高騰していますが、備蓄米の放出や国内の生産余力を活用し、供給を増やすことができれば、価格安定化の効果が期待できます。このように、不測の事態に備えて、食料供給能力を維持しておくことはとても重要です。



ここで改ページ

- 画像必須

C4

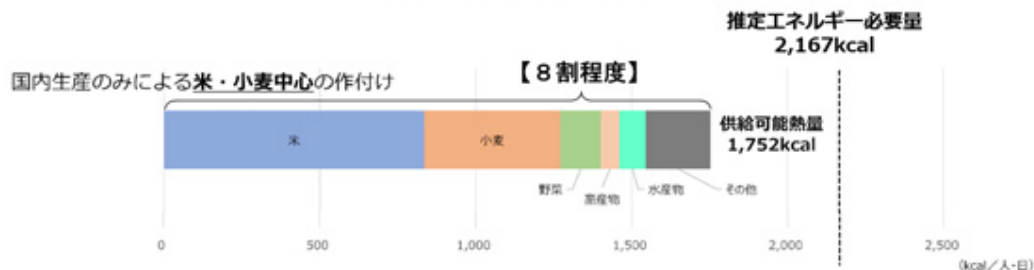
▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

2 我が国の食料自給力（潜在的な食料生産能力）

- 令和5年度時点の食料自給率は38%※で、エネルギー必要量の残りは海外からの輸入により賄われています。
- 栄養バランスを考慮しつつ、米・麦を最大限作る場合、国内生産のみの供給可能熱量（エネルギー）は、必要量の8割程度と試算されています。

食料自給力指標（令和5年度）



注1: 推定エネルギー必要量は、1人・1日当たりの「そのときの体重を保つ（増加も減少もしない）ために適当なエネルギー」の推定値をいう。
注2: 農地面積は429.7万ha（令和5年農地面積統計）に加えて、再生利用可能な荒廃農地面積9.0万ha（令和4年）の活用を含む。

供給可能熱量（エネルギー）／推定エネルギー必要量 = 1,752kcal / 2,167kcal = 80.8%
(水産物を除くと 1,643kcal)

出典: 令和5年度食料自給率・食料自給力指標について

※参考 食料自給率とは

R5食料自給率（食料自給率はエネルギー必要量ではなく総供給熱量（エネルギー）で計算）
＝ 国産供給熱量（エネルギー）／総供給熱量（エネルギー）＝ 841kcal / 2,203kcal = 38%



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q8

カロリーベースの食料自給率は38%ですが、潜在的な食料生産能力は必要量の8割程度であることをご存じでしたか。

最も近いものを1つ選んでください。（1つだけ）

○ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① 知っていた

② ある程度知っていた

③ 知らなかった



ここで改ページ

- 画像必須

C5

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
※クリック必須

3 農地の整備や農業水利施設の整備・保全

- 農地の整備や農業水利施設の整備・保全は、農業生産性の維持・向上の基礎となります。
- 区画整理や排水改良は、農業生産性を高めることで、人手不足が緩和されるとともに荒廃農地の発生が抑制され、食料供給能力の維持に役立っています。
- 農業生産には、農業用水の安定供給や農地の洪水被害の防止も重要です。このため、農業水利施設（農業用ダム、取水ぜき、農業用水路、農業用排水路など）の整備が行われています。

農地の区画整理

小さな田んぼの集まり



農地を成形し、区画を大きくすることで、大型のトラクターやスマート農業の導入が可能となり、作業の効率化につながります。

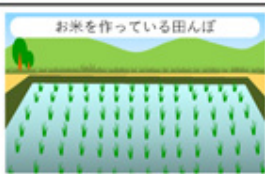
小さな田んぼをまとめる



生産性が高まることで、人手不足が緩和され、荒廃農地の発生防止にもつながります。

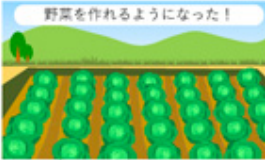
農地の排水改良

お米を作っている田んぼ



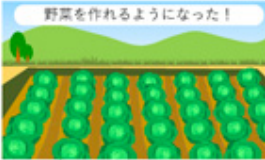
農地の水はけを良くすることで、生産力を高めます。

水はけをよくする



特に水田を排水改良すると、米以外も作ることができる農地となります。

野菜を作れるようになった！



生産する作物を変えられることにより、農業事情の変化に応じやすくなり、食料供給能力の維持に役立ちます。

出典：ジュニア農林水産白書2024版

..... ✂ ここでは改ページ

- 画像必須

C6

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼
※クリック必須

農業水利施設の役割



出典：ジュニア農林水産白書2024版



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q9

我が国では、農地の整備や農業水利施設の整備・保全が進められています。このことが、人手不足の緩和や荒廃農地の発生による食料供給能力の低下の防止にも寄与しています。ご存じでしたか。

最も近いものを1つ選んでください。（1つだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 知っていた
- ② ある程度知っていた
- ③ 知らなかった



ここで改ページ

- 画像必須

C7

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

ここからは、仮定の質問です。説明文をよくお読みになった上でお答えください。
これはあくまでも、食料供給能力の確保の効果を評価するための、このアンケート上での仮定であり、実際にこのような仕組みが考えられているわけではありません。

このような、農地の整備や農業水利施設の整備・保全是、農家自身の負担の他、国や生産地の都道府県、市町村の予算などで実施されていますが、仮に、各世帯からも負担金をいただくこととなった場合を想像してください。

「農地の整備や農業水利施設の整備・保全」をする場合、しない場合、それぞれ「状況A」または「状況B」になるものとします。

ただし、「状況A」、「状況B」、いずれも食料の分配・流通面の影響はないものとします。

この後、負担額を変えながら、「その一部費用を負担いただけるか」という質問が続きます。



ここで改ページ

- 画像必須

C8

▼ 画像をクリックして、別画面で表示される画像をご覧ください。 ▼

※クリック必須

状況 A

- 農地の整備、農業水利施設の整備・保全が行われて、農業生産性が保たれると、人手不足や農地の荒廃が抑えられ、食料供給能力が維持されます。
- この場合、国内生産で賄える食料は、カロリーベースで、必要分の約 8 割と試算されています。
- このため、不測の事態が生じて、増産により、価格高騰によって食費が家計を圧迫するなど市民生活への影響は小さく、比較的短期間に終わらせられる※ものと考えられます。
- 「農地の整備や農業水利施設の整備・保全」に対してあなたの世帯からの負担金が必要です。

状況 B

- 農地の整備、農業水利施設の整備・保全が行われず、農業生産性が低下すると、人手不足や農地の荒廃が進み、食料供給能力が低下します。
- この場合、国内生産で賄える食料は、カロリーベースで、必要分の約 5 ～ 6 割と試算されています。
- このため、不測の事態が生じると、価格高騰によって食費が家計を圧迫するなど市民生活への影響が大きくなる（変動幅の拡大、長期化）と考えられます。
- 「農地の整備や農業水利施設の整備・保全」に対してあなたの世帯からの負担金は不要です。

※不測の事態の発生による影響、収束まで期間等

事例1 平成5年産米の大不作（平成の米騒動）

- 平成5年(1993年)産米の大不作により供給量が前年に比べて約2割減少。
- 各地で消費者の買いだめ、買い急ぎが発生して、売り場から米が消える、国産米の単独販売停止、原料用米の価格上昇(約3～4割)など、消費者や関連業界に大混乱が発生。
- 高騰した価格が元の水準に戻るまでの期間は1年3ヶ月程度。

事例2 平成23年東日本大震災

- 平成23年3月、東日本大震災により宮城、福島、岩手県を中心とする太平洋沿岸で甚大な地震・津波被害が発生。
- 震災発生後、流通網の寸断により、米などが店頭で品薄になる騒ぎに発展するも、1ヶ月程度で沈静化。
- 水田の被災による、米の生産量の減少は、被災地外の生産を増やすことにより対応。

一状況B では、食料供給能力の低下により、市民生活への影響が大きくなる(変動幅の拡大、長期化)と考えられます。



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q10

仮に、世帯当たり毎月100円（年間1,200円、毎年継続的な負担が必要）の負担で、農地の整備や農業水利施設の整備・保全が行われ、食料供給能力が維持できる場合、あなたの世帯で、この費用を負担してもよいと思いますか。（1つだけ）

（負担する場合、あなたの世帯が商品の購入などに使えるお金が減ることを十分念頭に置いてお答え下さい）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① 負担してもよい（「状況A」がよい）

② 負担したくない（「状況B」がよい）



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q10】で1と答えた方
- ① 必須入力

Q11

仮に、世帯当たり毎月200円（年間2,400円、毎年継続的な負担が必要）の場合、あなたの世帯で、この費用を負担してもよいと思いますか。（1つだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① 負担してもよい

② 負担したくない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q11】で1と答えた方
- ① 必須入力

Q12

仮に、世帯当たり毎月500円（年間6,000円、毎年継続的な負担が必要）の場合、あなたの世帯で、この費用を負担してもよいと思いますか。（1つだけ）

☉ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

☐ 1 負担してもよい☐ 2 負担したくない

ここで改ページ

- セレクト条件 : 【Q12】 で1と答えた方
- ① 必須入力

Q13

仮に、世帯当たり毎月1,000円（年間12,000円、毎年継続的な負担が必要）の場合、あなたの世帯で、この費用を負担してもよいと思いますか。（1つだけ）

☉ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

☐ 1 負担してもよい☐ 2 負担したくない

ここで改ページ

- セレクト条件 : 【Q13】 で1と答えた方
- ① 必須入力

Q14

仮に、世帯当たり毎月2,000円（年間24,000円、毎年継続的な負担が必要）の場合、あなたの世帯で、この費用を負担してもよいと思いますか。（1つだけ）

☉ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

☐ 1 負担してもよい☐ 2 負担したくない

ここで改ページ

- セレクト条件 : 【Q14】 で1と答えた方
- ① 必須入力

Q15

仮に、世帯当たり毎月5,000円（年間60,000円、毎年継続的な負担が必要）の場合、あなたの世帯で、この費用を負担してもよいと思いますか。（1つだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① 負担してもよい

② 負担したくない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q10】で2と答えた方
- ① 必須入力
- ①6_FA：必須入力

Q16

Q10の質問で、「負担したくない（「状況B」がよい）」を選んだ理由に、最も近いものを1つ選んでください。（1つだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① 既に、農地の整備や農業水利施設の整備・保全に対する負担があり、これ以上は受け入れられないから

② 農地の整備や農業水利施設の整備・保全はする方がよいが、毎月100円（年間あたり1,200円）の価値はないから（支払う余裕がない）

③ 農地の整備や農業水利施設の整備・保全をする必要はないから

④ 農家自身の負担や税金などで行うべきで、個人の負担で行うべきではないから

⑤ 質問の趣旨がよく分からないから

⑥ その他



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q15】で1と答えた方
- ① 必須入力

Q17

Q15の質問で「負担してもよい」、を選ばれた方にお聞きします。仮に、負担額があなたの世帯収入（月収）の半分程度でも、農地の整備や農業水利施設の整備・保全は実施した方がよいと思いますか。どちらか1つ選んでください。（1つだけ）

☉ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① はい

② いいえ



ここで改ページ

- セレクト条件 : 【Q11】で2と答えた方、または【Q12】で2と答えた方、または【Q13】で2と答えた方、または【Q14】で2と答えた方、または【Q15】で2と答えた方、または【Q17】で2と答えた方
- ① 必須入力
- ①6_FA : 必須入力

Q18

Q10～Q15の質問で、金額によっては、「負担してもよい」と考えた理由に最も近いものを1つ選んでください。（1つだけ）

☉ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① 不測の事態の備えとして食料安全保障、食料供給能力の維持は重要だから

② 農地の整備や農業水利施設の整備・保全是、農業生産性の維持・向上を通じて、食料供給能力の維持に重要だから

③ 不測の事態に備えて、備蓄は重要だから

④ 不測の事態の備えではなく、農業生産が継続されると、自然災害が防止されたり、自然環境や景観が守られたりするなどの多面的機能が発揮されるから

⑤ 自分や家族にとって価値はないが、他の世帯も支払うのであれば仕方がないから

⑥ その他 (必須入力)



ここで改ページ

- セレクト条件 : any(Q16, "1-3,6") || any(Q18, "1,2,6")
- ① 必須入力(全項目)

Q19

農業や家庭菜園の経験はありますか？あなたの世帯と、親や親戚などについて、あてはまるものをそれぞれ1つお選びください。（それぞれ1つだけ）

☉ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/2

1 あなたの世帯 ▼

² 親や親戚など ▲

- ① 現在、農業をやっている
- ② 以前は農業をやっていた
- ③ 農業の経験はないが、家庭菜園などの経験はある
- ④ 上記のいずれにも該当しない



ここで改ページ

- セレクト条件 : (countif(Q19, "S1,2", "1") >= 1)
- ① 必須入力

Q20

Q19で【1】を選ばれた方にお聞きます。既に、農地の整備や農業水利施設の整備・保全に対して負担がある場合、家計への影響について、当てはまるものを一つお選びください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 農業生産のために重要であり、相応の負担と考えている。
- ② 家計への負担は大きいものの、農業生産のためにはやむを得ない負担と考えている。
- ③ 家計への負担が大きく、釣り合っていない。
- ④ 現在、農地の整備や農業水利施設の整備・保全に対する、負担はない。



ここで改ページ

- セレクト条件 : any(Q16, "1-3,6") || any(Q18, "1,2,6")
- ① 必須入力

Q21

あなたの自宅などから、田んぼや畑などが見えますか。（1つだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 自宅の窓や玄関から見える
- ② 自宅からは見えないが、普段の外出（通勤・通学・買い物など）のときに見える
- ③ 自宅からも、普段の外出のときも、見えない



ここで改ページ

- セレクト条件 : any(Q16, "1-3,6") || any(Q18, "1,2,6")
- ① 必須入力

Q22

将来、田舎（農村地域）に住みたいと思いますか。

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 住みたい
- ② どちらかと言えば住みたい
- ③ 今住んでいる
- ④ 住みたくない



ここで改ページ

- セレクト条件 : any(Q16, "1-3,6") || any(Q18, "1,2,6")
- ① 必須入力

Q23

「現在の日本」の食料安全保障の確保についてどのようにお考えですか。
最も近いものを1つ選んでください。（1つだけ）

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 非常に不安がある
- ② ある程度不安がある
- ③ 不安なことはないと思っている
- ④ 食料安全保障の確保について考えたことはない



ここで改ページ

- セレクト条件 : any(Q16, "1-3,6") || any(Q18, "1,2,6")
- ① 必須入力

Q24

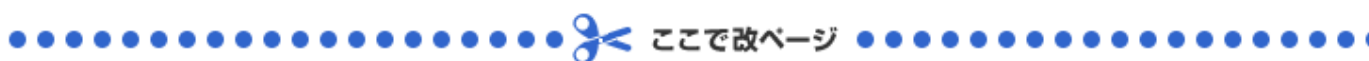
Q23では、「現在の日本」について質問しましたが、「将来の日本」の食料安全保障の確保についてどのようにお考えですか。

最も近いものを1つ選んでください。（1つだけ）

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 非常に不安がある
- ② ある程度不安がある
- ③ 不安なことはないと思っている
- ④ 食料安全保障の確保について考えたことはない



- セレクト条件 : any(Q16, "1-3,6") || any(Q18, "1,2,6")
- ① 必須にする(全てのFA欄)
- 1_N : 半角数字 / 最小1 / 最大100 / 整数

Q25

日常の判断基準を確認するための質問です。

あなたが普段お出かけになるときに、降水確率が何%以上のときに、傘を持って出かけますか。

★ 必須回答

▲ とじる

降水確率が %以上のとき

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信

© Macromill,Inc. All Rights Reserved.